

# ユキヒョウウィーククイズ(解答と解説)

10月23日(月)~29日(日)にSNSで出題したクイズの解答と解説です。  
みなさま正解できたでしょうか？  
これを機に、ユキヒョウのことを深く知っていただけたら幸いです。

【第1問】ユキヒョウの身体の特徴として、“**適当でないもの**”はどれか？

- サ：低い重心
- ア：真っ白い毛皮
- ミ：長い尾
- チ：広い鼻腔

解説：ユキヒョウは、身体の重心が低く脚が短いことで、急斜面を駆け下りる時に体が安定します。また、体の長さとはほぼ同じくらいの太くて長い尾は、岩の急斜面を走ったり跳んだりする時にバランスを保ったり、体に巻き付けて寒さから身を守ったりすることに役立っています。広い鼻腔は、冷たい空気を吸い込んでも温めて湿度を与えることができます。**白っぽい毛に黒のまだら模様**は、雪と岩の環境に溶け込み、保護色となります。

【第2問】野生のユキヒョウはどこの地域に生息しているのでしょうか？

- シ：アフリカ
- キ：ヨーロッパ
- サ：アジア
- イ：北極

解説：ユキヒョウは、ヒマラヤ山脈やアルタイ山脈など、**中央アジア**に連なる標高6000m級の山岳地帯に生息し、世界で最も高地に住むネコ科の動物です。

【第3問】野生のユキヒヨウの推定生息数として最も近いとされている数はどれでしょう？

- カ：約 500 頭
- ヒ：約 4000 頭
- ア：約 9000 頭
- ウ：約 20000 頭

解説：ユキヒヨウはIUCN（国際自然保護連合）の『レッドリスト』で「VU（危急種）」に指定されている、絶滅の恐れの高い種です。ユキヒヨウは人の立ち入りが困難な高山地帯に生息しているため野生の個体数の正確な把握は難しいですが、推定 4000 頭前後とされています。

【第4問】ユキヒヨウの子どもは最長で何歳頃まで親と一緒に過ごすでしょう？

- ツ：生後 6 か月頃まで
- レ：生後 1 歳頃まで
- カ：生後 2 歳頃まで
- ナ：生後 5 歳頃まで

解説：ユキヒヨウは群れを成さず単独で生活する動物です。育児は母親のみが行い、子供は 20～22 か月（2 歳になる前くらい）で独り立ちします。

【第5問】この中で遺伝子的にユキヒヨウにもっとも近縁とされているのはどの動物でしょう？

- コ：チーター
- ツ：ピューマ
- リ：トラ
- ヨ：ライオン

解説：ユキヒヨウは名前に「ヒヨウ」と入っていますが、ヒヨウとは別種の動物です。ユキヒヨウ・トラ・ライオン・ヒヨウはいずれもヒヨウ亜科のヒヨウ

属に分類されますが、その中でもユキヒヨウは遺伝子的にトラに近いといわれています。また、チーターはネコ亜科のチーター属、ピューマはネコ亜科のピューマ属に分類されています。

【第6問】野生のユキヒヨウが絶滅の危機にある原因として“**適当でないもの**”はどれでしょう？

- ロ：密猟
- ト：地球温暖化
- マ：現地民との軋轢（あつれき）
- ヒ：海洋汚染

解説：ユキヒヨウの狩猟は各国の法律で禁じられていますが、漢方薬の原料になる骨や、希少な毛皮を狙った密猟、またそれらの違法な取引（密輸）も起きています。ユキヒヨウが生息する高山の環境は、世界で温暖化の影響を最も強く受ける自然環境の一つです。ユキヒヨウやその獲物となる草食動物から、生存に適した気候やすみか、食べ物を奪い、一気に絶滅においやる可能性があります。また、野生のユキヒヨウが現地の人たちが飼育する家畜を襲ってしまい家畜被害が多数出てしまうことが頻発し、現地の人たちに害獣として殺されてしまうという問題も発生しています。

【第7問】現在、国内の動物園で飼育されているユキヒヨウの数は？

- ン：10頭
- ト：18頭
- シ：23頭
- レ：36頭

解説：2023年10月30日現在で、全国8園の動物園で、合計**18頭**のユキヒヨウが飼育されています。

※正解選択肢を並べてできるキーワードは当園で飼育している3頭（アサヒ・ヒカリ・リヒト）の名前をつなげた「アサヒカリヒト」でした。